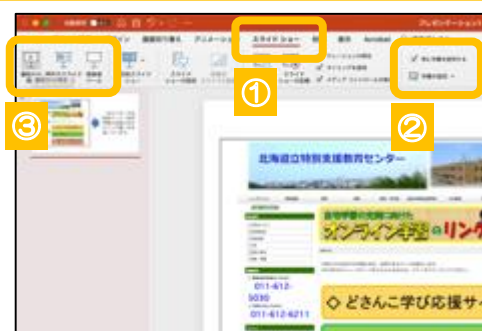


聴覚障がいのある児童生徒への「学びの保障」に向けた参考資料 自作教材や公開学習動画を活用する際のアイデア

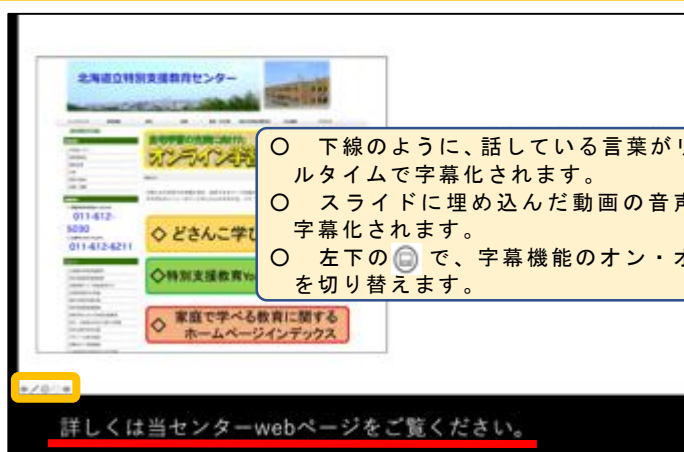
聴覚障がいのある児童生徒は、身の回りの音や音声聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかったりすることから、オンライン授業を実施する際には、話者の口元や手話表現、表情などが十分に表示できない場合であっても、可能な範囲で音声情報を文字化したり、字幕などの形で示したりして、必要な情報が児童生徒に伝わるよう配慮することが必要です。以下に、自作教材やWeb等で公開されている一般的な学習動画等に文字情報を付加するための方法例を示しますので、御活用ください。

アイデア1 プレゼンテーションソフトの字幕機能の活用 **遠隔授業等**

※本機能は、「PowerPoint for Microsoft 365」バージョンの「PowerPoint」で利用することができます。



- 次の手順で操作します。
- ①「スライドショー」タブをクリック
 - ②「字幕を常に使用する」をチェック
 - ③スライドショーを開始



本機能では、プレゼンテーション中に話している言葉をリアルタイムで文字起こしして画面に表示できることから、Zoom等のウェブ会議サービスを活用した授業配信などを実施する際に、音声情報を字幕化する手段として活用することができます。

【工夫点】①マイク等を活用し、文字変換の精度を向上させる

②スピーカービューを併用するなど、できる限り話者が画面上に現れるようにする。

アイデア2 自主学習等

動画配信サイトの機能の活用

※本機能は、「YouTube」の付属機能として利用することができます。



当センター「特別支援教育 YouTube チャンネル」掲載動画

- 画面右下の「設定」をクリックし、「字幕（1）」を「自動生成」にすると、画面内の赤囲みのように、字幕が生成されます。

オンラインでの自主学習の際に、児童生徒が自ら操作し、活用することが考えられます。サイトごとの機能の有無を調べるようにします。

アイデア3 自主学習等

音声・文字変換ソフトの活用

※本機能は、「UDトーク」の付属機能として利用することができます。



- 自主学習用のコンテンツや授業配信動画等の話し言葉について、文字起こし、字幕化して表示できます。
○ UDトークで認識した結果を Zoom に送信し、ウェブ会議中の音声をリアルタイムで字幕化し、参加者に配信することも可能です。

UDトークで認識した結果を Zoom に送信する方法については、[UDトークのマニュアル](#)を参照してください。

発行者：北海道立特別支援教育センター 聴覚・言語障がい教育室

電話：011-612-6211 URL：<http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/>

